



平等寺だより

発行

☎633-0001
桜井市三輪37
三輪山平等寺
TEL/FAX
0744-42-6033
<https://www.byodoji.org>

平和を願う

住職 丸子孝仁

皆様におかれましては益々
ご清祥のこととお慶び申し
上げます。

三輪山平等寺は檀信徒の
皆様に支えられ、法燈を守つ
ています。作務の日には汗
だくになって清掃をしてい
ただき、ありがとうございます
ました。

昨年2月に長島愛生園の
納骨堂で、膝を突き合わせ
て語り合った回復者の方々
に手を合わせました。7月
には曹洞宗人権教育啓発相
談員として広島で犠牲者を
追悼し平和を祈念しました。
8月には奈良市で有志の方々
と平和を祈りながら歩きま
した。9月には大阪・関西
万博ブルガリア館のゲオル
ギ・コストフ館長様のご厚
意で、41年前に描いたピー

スマークを展示していただ
きました。また、桜井駅前
で有志の方々と「ガザ・パ
レスチナの飢餓を止めよう」
集会を開き、鐘を鳴らして
イスラエル側も含む全ての
犠牲者を追悼しました。10
月にはアイヌ文化フェステイ
バルで20年ぶりに北海道・
様似の皆様と再会し、古式
舞踏を体験させていただきました。

今後とも戦争や差別によつ
て亡くなられた人びとを追
悼し、人権が尊重される平
和な社会の実現をめざして
皆様と共に願ひ、共に歩み
たいと思います。 合掌

橋奢第一の非 東堂丸子孝法

ガザ・イスラエル紛争、
ロシアのウクライナ侵攻も
終結することなく、平和は
遠のいています。

道元禪師様は『正法眼蔵・
隨聞記』の中で「人々一ツ
の非あり、橋奢第一の非な
り」と示されています。橋
奢（きょうしゃ）とはおご

りたかぶるという意味です。
政治家だけではありません。
すべての人が、おごりたか
ぶる心を解決しなければ、
本当に人と人が尊敬しあ
う平和な世界にはなりません。

そのように学ばせて頂き、
そのことを人々に伝えよう
とする私自身が、実は一番
問題なのです。

手のひらに五本の指があ
ります。長さも太さも違
います。親指は力持ちで指圧
をする時は大活躍です。人
差し指は方向を示します。
中指は中心になつて心強い。
薬指は薬を塗ったりするの
に適しています。小指は私
と同じで小さくて役にたち
そうでない。でも逆立ちを
する時には一番重要なのだ
そうです。五本の指もそれ
ぞれに大切な役割をもって
います。そのことに思いを
寄せながら、歩んでいき
たいと思っています。

おごりたかぶることがな
いように、平和になります
ように。皆様しあわせであ
りますように。 合掌

大阪・関西万博



41年前の担任の杉本哲也先生は毎年8月に奈良町資料館でピースメッセージ展を開催されています。杉本先生のご指導により、平和を願うマークとメッセージを世界中に発信しました。



ブルガリア館の人気キャラクター・ラクトちゃんと



ウクライナパビリオンに掲げられた看板に書かれているのは「NOT FOR SALE」(非売品)。展示品は「自由」「尊厳」といった価値観が投影され、「売らない」という強いメッセージを発していました。

ミサイルやドローンによる攻撃が続くウクライナでは地下が街となり学校となり非常に困難な生活が続いています。一般市民や子どもたちが犠牲になっています。一日も早く戦争が終わることを願います。

ウクライナから避難したオレナさんのお話



カナダ館のケール・ハズバンド様が来山されました。



カナダ館をご案内いただいたマンディ様



9月23日に永平寺で東堂様が道元禅師様を敬う法要の導師(焼香師)を勤めさせていただきました。妙幸様と道仁様が随行しました。



神戸市で開催のアイヌ文化フェスティバルで20年前に交流しました北海道・様似の皆様と再会しました。最後は舞台上がって古式舞踊を体験させていただきました。アイヌ語でお別れました。



ハッキョの子どもたちと山遊びをして、美味しいそうめんを食べました。子どもたちは温かい先生たちと関係者に見守られて明るく元気に育っています。



「まほろば芸術ラボ」の皆様が祈りのコンサートを開催してくださいました。井藤和様の大和ハープの美しい音色と、伊藤忍様の息の合ったギター、そして山本昌代様の透き通るような歌声に癒されました。



有志の皆様と「ガザ・パレスチナの飢餓を止めよう!」集会を開催しました。

ワールドピースマーク 40年の時を超えて 丸子孝仁

昨年の9月6日から13日まで大阪・関西万博ブルガリア館のゲオルギ・コストフ館長様のご厚意で、41年前に大三轮中学校1年生が描きましたワールドピースマークとブルガリアで開催されました「平和の旗集会」のパネルを奇跡的に展示していただきました。

今から41年前の1985年、大三轮中学校美術担当教諭でいらっしやった杉本哲也先生が1年生の美術の期末試験にピースマークを描く問題を出題されました。杉本先生は「子どもたちの思いを世界に届けよう」と、平和のメッセージを英文

で作成し、それを生徒たちが書き写してワールドピースマークに添えて、世界各国の大統領府や首相官邸、国内の美術館等100ヶ所に送りました。フランスやイギリス、国連等からたくさんの応援の返事をいただきました。国内の美術館から私の描いたワールドピースマークに配色のアドバイスが寄せられ改めて3色で清書しました。

翌年の1986年、国連の国際平和年にちなみブルガリアの首都ソフィアで開かれた「平和の旗集会」に招待いただき、世界中から集まった子どもたちと共に平和について学び合い、手を取り合って踊り、イタリアから寄贈されたオリブの苗木を植樹して3日間を過ごしました。

私の名前はマルコですが、その時はヒロシマという名前でした。ヒロシマは世界で初めて原爆が落とされた場所でも

あります。私は原爆が他人事とは思えず、その残酷さを描いた漫画「はだしのゲン」を繰り返し読んでいましたので原爆は二度と使用してはならないと強く考えていました。原爆は一瞬にしてヒロシマの街を破壊し、14万人の尊いのちを奪いました。私たちがワールドピースマークを描い



たのは第二次世界大戦が終わってから40年後でした。そして今、それから41年が経ち、日本では戦後81年と言われています。しかし今、世界では戦争が行われ、街は破壊され、子どもたちが犠牲となっています。

私が41年前に描いたワールドピースマークは地球を囲む

4人の子どもたちがいます。4人の子どもたちは赤と白と黒の3色で違う皮膚の色、髪の色を表し、髪型や性別も違うようにして多様性を表しました。地球の中心を日本にしませんでした。戦争の根本的原因は自分または自分の国さえ良ければ、他人や他人の国はどうなってもいいという考えがあります。その考えが行き着く先はジェノサイドです。真ん中の地球は陸地が多い側を描きましたので、日本は右端になりました。そして笑顔で手を取り合っている姿には大きな意味があります。世界では戦争が絶えません。戦争では子どもが血と涙を流し犠牲になっていますが、いつか必ず全ての人が人種、皮膚の色、民族、国籍を理由に争うことなく笑顔で手を取り合える日が来て欲しいという願いです。

40年前にブルガリアで開催され、参加させていただきました「平和の旗集会」は、今を生きる世界中の人が目標とすべき、国境を越えた多文化共生をあらわす国際交流であ

りました。まさにワールドピースマークそのものでした。

ブルガリアパビリオンの展示では、公式マスコット「ラクトちゃん」から協力し合う乳酸菌の働きを学び、ブルガリアのITやAIなどの最先端の技術力に驚かされました。さらに、未来は「私たちの選択」によることを考えさせられました。

一日も早く世界中の子どもたちが笑顔で手を取り合える日が来ることを願っています。

合掌



「縁」を繋いで 副住職 丸子 竜輝

昨年は第二次世界大戦の終戦から80年という平和について今一度考え直す大切な年でした。戦時中の記憶を持っている人々の数が年々少なくなり、今一度、私たち若い世代も含め、国民一人一人が戦争や平和のあり方について考え直す節目の年になります。

これからの時代を生きていく私たちにとって大切なことはご先祖様と自身の縁の繋がりを感ずることだと思っています。昨年は9月23日に秋の彼岸会が行われ、檀信徒の皆様と一緒に戦没者並びに御先祖様の供養を行いました。仏教では毎年、春分の日と秋分の日の2回彼岸会が行われますが、この世（此岸）とあの世（彼岸）の距離が最も近くなる時期になります。彼岸会には先祖供養をするという意味と自身の存在意識を高める機会だと思っています。これは仏教のみならず無宗教の人にも通じることであり全ての生きものは奇跡的な縁で繋がっています。



御先祖様は仏壇だけではなく自身の心の中に生き続け私たちを見守っています。そして先祖への感謝の思いは自身の勇気へと変わり生への活力となります。

戦争の歴史は憎しみの連鎖で、現代においてもロシアによるウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ紛争が続いており戦争、紛争は他者から大切なものを奪い取る行為であり愚かな我欲から生まれます。この我欲は自身の迷いや苦しみの中から生まれ自制ができなくなると他者を攻撃して傷つけることとなります。そうならない為にも感謝や慈愛を持つことは大切なことだと思っています。

私も皆様から支えられて今の自分があります。今後も皆様との縁を繋いでいきたいと思っています。 合掌

【三輪山平等寺護持会お知らせ】

護持会にはいつも大変お世話になりました。ありがとうございます。皆様の会費は、宗費・宗務所費、平等寺だより、花祭り大護摩会や梅花講の助成並びに寺院境内の修繕工事等に充てさせていただきます。昨年は本堂の西側の基壇に上がる階段に手すりを設置していただきました。



年間行事予定

【一月】一〜三日 修正会

十二日 十八時役員会

成人の日十四時初護摩会

【二月】三日 星祭会

十五日 六時 涅槃会

【三月】春分の日 春彼岸会

【四月】五日 十時 大護摩会

花祭り会・ちごねり

【五月】二十四日九時 作務の日

【七月】上旬 本山研修会

下旬 子供坐禅の集い

【八月】一日 最勝会・施食会

二十三日十四時 地藏会

【九月】秋分の日 秋彼岸会

【十月】下旬 県梅花大会

【十二月】一〜八日 朝六時

歳末托鉢行・摂心会・成道会

二十一日十四時終護摩会

三十一日 除夜の鐘

月間行事予定

一日・十五日六時 祝拝朝課

十八日十四時(行事別)梅花講

二十四日十四時 水子供養

二十八日十四時 護摩会

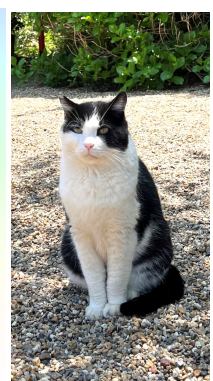
(一・四・十二月は右記参照)

日曜日六時半 坐禅会

ハートが行く⑦

いつもハートを可愛がっていただき、ありがとうございます。人間観察に夢中です。いないと思ったら遠くから眺

めていたり、先回りして待っていたりします。



YOUTUBE開設

YOUTUBE
チャンネルです



ご案内

お寺のホーム
ページです



三輪山裏



世界が平和を守り核兵器を廃絶する道のりは険しいままですが、あきらめずにいのちの尊さを伝え続け、平和の声を上げ続けます。今年も猛暑になりそうですね。くれぐれもご自愛くださいませ。 合掌